

ソ連の「革新」的な実験がもたらした大惨事

墮胎と離婚の急増、出生率の急減 少年非行が急増して国力を破壊！

最近、土屋たかゆき議員が街頭宣伝などで訴える定番の一つに「夫婦別姓」と「スターリンの失敗」があります。旧ソ連が革命を進めるためその障害とされた家族への攻撃とその失敗のことを指しますが、ネットで小田村四郎氏(元拓殖大学総長)がその概要を解説したテキストを見つけましたので以下で紹介致します。

結論から言えば、墮胎と離婚の急増、出生率の急減、少年非行が急増、掠奪、破壊、抵抗者の殺戮が社会に蔓延し、国力を破壊したとあります。この立て直しには家族を再強化するしかなかった、というスターリンの大失敗が証明されたという顛末です。

こういう世界で唯一の貴重な「失敗事例」に学ぶのではなく、それを進めようとしているのが民主党政権の選択的夫婦別姓や戸籍制度廃止、[子ども手当](#)等々の一連の政策というわけです。そんな民主党政権は「日本を解体」したいのでしょうか？。以下、ご覧下さい。



神宮外苑絵画館前の銀杏並木です。(11月28日、午前撮影)

夫婦別姓論者の真の狙いは何か

その結果はどうなるか。かつて事実婚を公認した唯一の国家であった旧ソ連の実験を左に紹介したい。以下は、ニコラス・S・ティマシエフ(Timasheff)の「[ロシア](#)における家族廃止の試み」という論文(N.W.Bell" A Modern Instrucion to the Family"1960 N.Y. Free Prees所収)による。

旧ソ連の家族破壊はどう行われたか

1917年、ロシアの共産革命によって政権を掌握した共産党及び革命政府の施策は多くの抵抗に遭遇した。ソ連政府はその原因を家族、学校、教会にあると考え、革命を成功させるため、家族の絆を弱め、教会を破壊し、学校を革命の担い手に変えることとした。「旧秩序の要塞・伝統文化の砦」とされた家族に対する攻撃は次のように行われた。

一、従来、法律婚の要件とされていた教会での結婚式を不要とし、役所での登録だけで婚姻の効力が生ずるものとした。

二、離婚の要件を緩和し、当事者合意の場合はもちろん、一方の請求だけでも裁判所はこれを認めることとした。

三、犯罪であった近親相姦、重婚、姦通を刑法から削除した。

四、墮胎は国立病院で認定された医師の所へ行けば可能となり、医師は希望者には中絶手術に応じなければならないことになった。

五、子供たちは、親の権威よりも共産主義のほうが重要であり、親が反動的態度に出たときは共産主義精神で弾劾せよ、と教えられた。

六、最後に、1926年には、「非登録婚」も「登録婚」と法的に変わらないとする新法が制定された。

この結果、(1)同居、(2)同一家計、(3)第三者の前での結合宣言、(4)相互扶助と子供の共同教育、のうちの一つでも充足すれば、国家はそれを結婚とみなさなければならないこととなった。



これにより、「重婚」が合法化され、死亡した夫の財産を登録妻と非登録妻とで分け合うことになった。こうした反家族政策の狙いどおり、家族の結びつきは1930年頃には革命前よりは著しく弱まった。

しかし、彼らが予想もしなかった有害現象が同時に進行していた。1934年頃になると、それが社会の安定と国家の防衛を脅かすものと認識され始めた。すなわち、

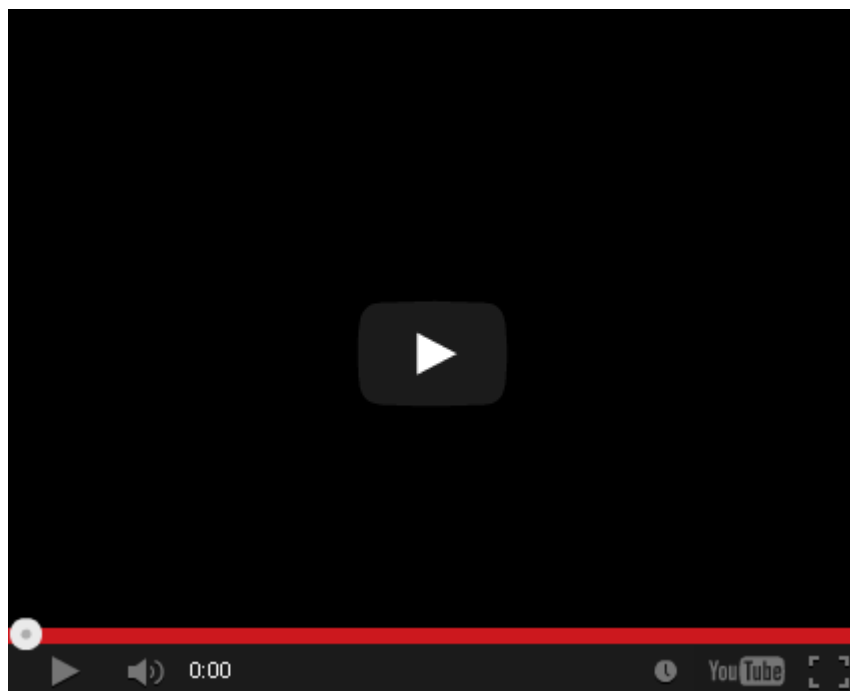
一、墮胎と離婚の濫用(1934年の離婚率は37%)の結果、出生率が急減した。それは共産主義国家にとって労働力と兵力の確保を脅かすものとなった。

二、家族、親子関係が弱まった結果、少年非行が急増した。1935年にはソ連の新聞は愚連隊の増加に関する報道や非難で埋まった。彼らは勤労者の住居に侵入し、掠奪し、破壊し、抵抗者は殺戮した。汽車のなかで猥褻な歌を歌い続け、終わるまで乗客を降ろさなかった。学校は授業をさぼった生徒たちに包囲され、先生は殴られ、女性たちは襲われた。

三、性の自由化と女性の解放という壮大なスローガンは、強者と乱暴者を助け、弱者と内気な者を痛めつけることになった。何百万の少女たちの生活がドン・ファンに破壊され、何百万の子供たちが両親の揃った家庭を知らないことになった。

破壊後のやりもどしはこう行われた

こうして、1934年には、国家はこのような混乱の対策に精力を消耗することに耐えられなくなった。それは戦争に直面している国の国力を破壊するものであった。これを是正するためには、社会の柱(pillar of society)である家族を再強化する以外に方法はなかった。かくして政府は次のような措置を取った。



一、「結婚」の意義が再評価された。それは生涯の結合であって人生の「最も厳粛な行事」とであると教えられるようになった。家庭の強化は共産主義の基本的モラルの一つとされた。「離婚は性的快樂のための権利ではない」として、1935年には、結婚した翌日に離婚した男が強姦罪で起訴された。1939年の公的雑誌に次のような記事が書かれている。

「国家は家族なしには存立し得ない。結婚は生涯の伴侶を得てこそソビエト国家に価値がある。いわゆる自由恋愛はブルジョワの発明であって、ソビエト市民の行動原則とは何の関係もない。さらに結婚は、子を儲け、親としての喜びを経験することによって国家に対する最大の貢献となる」

『イズベスチヤ』や『プラウダ』は結婚祝福の記事を載せ、1936年には教会で用いられる結婚指輪も店で売られるに至った。

二、離婚の制限を強化した。1935年には離婚歴が戸籍に登録され、女性が男の30人目の妻となるようなケースを防止できるようになった。離婚費用も3ルーブルだったのが、1回目50ルーブル、2回目100ルーブル、3回目150ルーブルに引き上げられた。この結果、たとえばウクライナの離婚件数は、1936年には前年の三分の一に減少した。

三、この法律は、さらに1926年に導入された非登録婚の制度を廃止した。登録婚だけが合法となり、嫡出子と非嫡出子の「ブルジョワ的差別」も復活した。婚外子とその母とは扶助料も受けられなくなった。

四、墮胎の自由もなくなった。1935年から反中絶キャンペーンが始まり、それがいかに母体に悪影響を及ぼすかを医学者たちがPRした。1936年には1920年の法律が改正され、母体の生命と健康に危険のある場合及び重大な遺伝上の問題がある場合を除いて人口中絶が禁止された。出産が奨励され、六人以上の多子家庭には特別手当が支給された。

五、親に対する反抗の奨励も修正された。親の権威が強調され、1935年には、「親に対する尊敬と孝行は青年共産主義者同盟(コムソモール)の道徳の核心をなすものである」と新聞に報道された。[スターリン](#)も1935年10月、自らチフリスに住む老母を訪ね、母親に対する愛情と尊敬を示し、模範例として称揚された。

前者の轍を踏んでもいいのか

以上が、結婚と家族を破壊しようと試みたソ連の壮大な実験の経緯と結末を紹介したティマシエフ論文の概要である。ところが、「家族」を敵視した共産主義者たちですら失敗と認めたソ連の悲惨な実験について、福島瑞穂氏は、「[ロシア](#)革命の後、様々な政策が根本から見直され、一時的であれ、事実婚主義がはっきり採用されていたとは素晴らしいことだと思う」(『結婚と家族』岩波新書)と手放しで絶賛している。別姓論者の意図が奈辺にあるかは、この一文によって察せられるであろう。

注意すべきは、ソ連がこのように180度の政策転換を行う事ができたのは、一にソ連が共産党独裁によってスターリンが国民の批判を許さない絶対権力を握っていたからである。自由主義、民主主義の国家においてはこのような軌道転換はほとんど不可能といってよい。



いまやほとんどもコースに入れるほどの人気のスポットとなりました(同上)

家族崩壊と青少年非行、児童虐待に悩む欧米諸国の現状を見るがよい。[クリントン](#)大統領は1996年1月の一般教書で家庭の尊重を強調し、6月には青少年犯罪対策として夜間外出禁止条例の制定を州、都市に要望したが、事態はそこまで悪化している。[ヨーロッパ](#)でも[スウェーデン](#)(ソ連に近い事実婚公認)やフランスの家族崩壊は目に余るものがある。しかしいったん崩壊した家族秩序を修復、再建することは至難の業である。


ピューリタンの厳しい伝統に支えられていた[米](#)国等でさえ然りである。欧米のような厳格な一神教の伝統を持たないわが国にあっては、祖先祭祀を核とした「家」の存在こそが社会秩序の基礎であった。(参照、加地伸行『沈黙の宗教—儒教』筑摩書房)競争社会の中で唯一の憩いの場であり団欒の場である家庭が崩壊することは、社会秩序を根底から破壊する。それは国家破滅への道である。

「ライフスタイルの自己決定権」と称して、別姓論者が事実婚を実行し、現姓に固執することは犯罪ではないから自由である。しかし、これを実定法以上の権利と主張し、別姓の法定を要求し、相続権も与えよというに至っては論外である。

民・刑法の定める一夫一婦制度は、わが国社会秩序の基礎であって、これを破壊するような要求に法的保護を与えることは断じて許されないのである。

文・小田村四郎 八木秀次・宮崎哲弥編「夫婦別姓大論破！」より引用。

- 1/3 【11.28日本解体阻止!!】 渋谷街頭大演説会（昼の部）ダイジェスト
- 2/3 【11.28日本解体阻止!!】 山手線全駅街頭宣伝活動
- 3/3 【11.28日本解体阻止!!】 渋谷街頭大演説会（夜の部）ダイジェスト
- 土屋敬之-1（11・28 日本解体阻止！！守るぞ日本！国民大行動）
- 土屋敬之-2（11・28 日本解体阻止！！守るぞ日本！国民大行動）
- 三橋貴明（11・28 日本解体阻止！！守るぞ日本！ 国民大行動）
- 田母神俊雄（11・28 日本解体阻止！！守るぞ日本！ 国民大行動）
- 西村真吾（11・28 日本解体阻止！！守るぞ日本！ 国民大行動）
- 外国人地方参政権反対 吉田康一郎都議よ国会議員を突き上げろ！
- 外国人参政権反対 抗議の旗・旗・旗・プラカード 目醒めよ日本人！

カテゴリ: 政治も フォルダ: 指定なし   

コメント(18)

タグ: 夫婦別姓 旧ソ連 スターリン 土屋たかゆき 小田村四郎 八木秀次 宮崎哲弥 「夫婦別姓大論破」 国力破壊

コメント(18)

コメントを書く場合はログインしてください。

Commented by **花うさぎさん**

2009/12/01 08:11

◎緊急告知 国会前座り込み街頭宣伝活動(再)

12.3 日本解体阻止！外国人地方参政権絶対阻止！
守るぞ日本！国民大行動 第4弾！

平成21年12月3日(木) 雨天決行！
14時30分 溜池山王前・日枝神社集合 参拝後、議員会館へ
15時00分 議員会館前集合 国会前座り込みとブラブラ歩き(~19時)

予定は変更の可能性があります。プラカード、旗などの持ち込み歓迎。

主催 草莽全国地方議員の会、外国人地方参政権絶対阻止行動委員会、[日本文化チャ
ンネル桜](#)二千人委員会有志の会

Commented by **maazさん**

2009/12/01 08:35

花うさぎさん、こんにちは。

ソ連というと2つ思い出すことがあります。

一つは[スターリン](#)時代に、実際に体制を批判していた両親を告発した小学生の女の子の話。

当然、両親は処刑されたのですが、ソ連政府は、社会主義の子供の鑑として彼女を讃え、国として彼女を育てることを約束しました。

このニュースは世界中に宣伝されたのですが、その後の彼女の消息については大手メディアでは伝えられていません。彼女は数年後に、親類の手で殺されたのです。

もう一つは、アンドレイ・チカチーロという男の話です。

この男は、立証できただけで52人の女性や子供を殺害した殺人鬼です。

ただ、殺人鬼と呼ぶのは、私は気がひけます。

なぜなら、彼もソビエト社会主義体制の被害者だからです。

[スターリン](#)時代の飢餓政策については皆さんご存じでしょう。

富農と呼ばれる層を飢餓においやり絶滅させる計画です。

この男は子供時代に飢餓政策を体験しています。飢餓に陥った農民は子供を攫って殺して食べたといわれています。[チカチーロ](#)の兄弟も行方不明になったそうです。

その原体験に加え、社会主義体制の工場で調達担当だった彼は、物資不足のソ連末期に原材料が調達できずに工場が回らない責任をすべて被せられたのです。ソ連という国家全体にモノがないの国家の責任ですが、それを無理やり個人の責任に押し付けるのが社会主義体制というものです。

これらの異常体験が、彼を殺人鬼にしたといわれています。

また、表向き社会主義では犯罪がないとされていたため、[チカチーロ](#)の近辺で殺人事件が多発してもニュースにもならず、女性や子供たちは警戒することすらできなかったのです。

これも、社会主義国家の異常な側面です。

Commented by **maazさん**

2009/12/01 08:46

こちらのブログさんに、今回のテーマに関連する記事があります。

↓

<http://koramu2.blog59.fc2.com/blog-entry-546.html>

あるユダヤ人の著書ですが、戦後日本が[アメリカ](#)から押し付けられた民主主義、および、自由と平等という相矛盾する思想により、戦前の日本が持っていた世界最高の美点がいかに失われたかという内容です。家族制度の崩壊なども言及しています。

彼は、日本の天皇制度を「君民一体」で社会を向上させる人類最高の制度と讃えていま

す。しかし、戦後日本は「民主主義」という聞こえはいいが欠陥だらけの制度に変わったと
しています。

2009/12/01 09:00

さらに、この中で興味深いのは、日米戦争を引き起こしたルーズベルトが実はユダヤ人で
あり、かつ、共産主義者であったということです。

彼とその一派は、当時のアメリカを異常なところまで左翼化したといわれており、戦後のア
メリカの行った「レッドパージ」とは、ルーズベルトらニューディール派を壊滅させるための
政策だったということです。



Commented by **maaz さん**
もう一つ、面白いお話をしましょう。

2009/12/01 09:20

いまや社会主義思想は、世界中でキワモノ扱いです。
いまどき欧米で、いい年した大人が左翼思想にかぶれていると知能が足りないと思われ
ます。

また、現存する純粋な社会主義国家は、**北朝鮮**のような異常国家しかありません。その
他の**中国**や**リビア**、**キューバ**などは、経済的にはすでに資本主義のなんちゃって社会主
義・共産主義です。

その証拠に、これらの国々の大学でマルクスなどの思想を学ぶ学科はありません。実
は、**北朝鮮**にもありません。(やってるのは**チュチェ思想**)
どこの国でも、いまどきそんな思想がまかり通るなどとだれも考えていないからです。

ところが、世界で唯一、マルクス思想などの社会主義・共産主義思想を大学で学ぶことが
できる国があるのです。

時代遅れで知恵遅れの左翼教授が、国立大学に跳梁跋扈する日本です。



Commented by **花うさぎ さん**
To maazさん おはようございます。

参考になる情報をありがとうございました。

>時代遅れで知恵遅れの左翼教授が、国立大学に跳梁跋扈する日本です。

これが決定的に面白かったです。笑っている場合ではないのですが。



Commented by **花うさぎ さん**
・イベントガイド

2009/12/01 10:56

『拉致と国防に関するシンポジウムー如何に救い如何に守るかー』

<パネリスト>

櫻井よしこ(ジャーナリスト)
田母神俊雄(前航空幕僚長)
矢野 義昭(元小平学校副校長)
荒木 和博(**特定失踪者問題調査会**代表)

日時:2009年12月6日(日)14:00~約2時間

会場:ゆうらいふセンター(**日産**労連)

住所:東京都港区海岸1-4-26

交通:**JR**浜松町駅より徒歩5分

参加費:1,000円(会員500円)

主催:予備役**ブルー**リボンの会

<http://www.yobieki-br.jp/>



Commented by **花うさぎ さん**
・イベントガイド2

2009/12/01 11:12

「これでいいのか日本『対馬が危ない』**韓国**に侵される国境の島

2009/12/01 11:35

<基 調 講 演> 宮本 雅史(産経新聞編集委員)
 <シンポジウム> 平沼 赳夫([衆議院議員](#))
 田母神俊雄(元航空幕僚長)
 作元 義文(対馬市議会議長)

日時:2009年12月7日(月)18:30~ 開場18:00
 会場:新宿区牛込筆筒区民センター
 住所:東京都新宿区筆筒町15
 交通:都営大江戸線 牛込神楽坂駅 A1出口より0分
 参加費:無料
 主催:対馬フォーラム実行委員会
<http://tsushimaforum.jp/pc/index.htm>



Commented by [八目山人 さん](#)

どこかで読んだのですが、既に戦前にフランスの作家か学者が、「馬鹿か嘘つきでなければ、共産主義者にはなれない。」と言っているそうです。

今の日本の左翼を見ていると、誠にこの言葉は的を射ていると思われます。



Commented by [国民の声 さん](#)

2009/12/01 11:49

11月28日のデモは外国人参政権反対を鮮明に打ち出して、一般の方々にこの法案の危険性を広報できたと思います。

しかしもっと危険な法案「外国人住民基本法案」を[民主党](#)の円より子が[参議院](#)に提出しております。

「密入国者、不法滞在者でも、5年間日本に滞在すれば永住権と日本国民と同等の権利を得ることが出来る」という非常に危険な法律です。

12月3日(木)国会前座り込み運動、が行われます。詳細は↑
 私も参加します。



Commented by [花うさぎ さん](#)

2009/12/01 12:17

To 八目山人さん こんにちは。

>今の日本の左翼を見ていると、誠にこの言葉は的を射ていると思われます。

激しく同意致します。ただ「馬鹿か嘘つき」ではなく、「馬鹿で嘘つき」が相応しいでしょう(^_^;)。



Commented by [花うさぎ さん](#)

2009/12/01 12:21

To bunkyo-kuさん

>しかしもっと危険な法案「外国人住民基本法案」を[民主党](#)の円より子が
 >[参議院](#)に提出しております。

これは確認できてないのですが、今年の通常国会で請願をしていた、と言うことではないですか？。

>「密入国者、不法滞在者でも、5年間日本に滞在すれば永住権と日本国民と同等の権利を得ることが出来る」という非常に危険な法律です。

読みましたけど、日本の憲法にも法律にも抵触するデタラメ、単なる思いつきのレベルですよ。

>私も参加します。

直前にならないと判りませんが、出来るだけ私も参加したいと思います。



Commented by [その蠅 さん](#)

2009/12/01 14:05

[スターリン](#)は戦後ソ連で否定されましたが、日本では未だスターリニズムが総括されることもなく生きてるんですね。

今の共産党や日本の左派は戦前のソ連をお手本に賛美してるんです。

日本人がいかに過去に学ばないかという良い例の一つだと思いますが。

2009/12/01 14:10



Commented by **hamusuke** さん

花うさぎさん、こんにちは。

愚者は経験から学ぶ、ということでしょうか。「[民主党にやらせてみて](#)、ダメなら次は・・・」というのは、歴史を学ぶ気のない国民なのでしょう。誰でも愚者でも経験すればわかりますよね？しかし、全てを経験するには人生は短い。だから歴史から学ぶのです。

鳩山政権の「未経験だから大目に見て」というのも、とても4年間ではすべて経験できないでしょう。それまでどうするのでしょうか。今の日本には、楽な方へラクな方へと落ちていくのが良い、という空気が蔓延しているように感じます。



Commented by **花うさぎ** さん

To その鯛さん こんにちは。

2009/12/01 14:24

>今の共産党や日本の左派は戦前のソ連をお手本に賛美してるんです。

はあ～(^ ^)。

>日本人がいかに過去に学ばないかという良い例の一つだと思いますが。

いや、それはごく一部の左巻きの話で、多くの日本人は普通の判断していると思います。ただ、現在進行中のことがすなわち国家社会主義であるとの認識がいまいち、これが気になります。



Commented by **花うさぎ** さん

To hamusukeさん こんにちは。

2009/12/01 14:27

>歴史を学ぶ気のない国民なのでしょう。

でも多いですよ(^ ^)。

>全てを経験するには人生は短い。だから歴史から学ぶのです。

その歴史を知らなさすぎです。教育の賜でしょうが。

>今の日本には、楽な方へラクな方へと落ちていくのが良い、という空気が蔓延しているように感じます。

本当ですね～。どっちが沢山くれるんだ、という人は、国の将来を食いつぶしていることをもっと認識すべきですね。「自らを律する」なんて今では死語でしょうか？。



Commented by **花うさぎ** さん

・ニュース 外国人地方参政権 法的に問題ない？

2009/12/01 17:58

(前略)永住外国人が地方選挙に加わると、内政問題に外国政府の利害が絡んでくるのではないかー。そうした反対論があるのは事実だが、外国人が自治体の選挙に一票を行使したからといって、国家の主権が侵害されると考えるのは飛躍というものだろう。

むしろ、多様な人々がともに暮らす地域社会を築くためには、こうした声を取り入れることが必要だ。実際、[住民投票](#)条例に外国人の投票を盛り込んでいる[地方自治体](#)は少なくない。

[最高裁](#)は1995年に、「定住外国人に地方選挙権を付与することは憲法上禁止されていない」との判断を示している。法的に問題はないことは明らかだ。(後略)

<http://www.shinmai.co.jp/news/20091130/KT091129ET1090001000022.htm>

・信濃毎日のこの記者、恐ろしい無知。反対、[憲法](#)違反っていつてるの！



Commented by **miestique** さん

花うさぎさん こんにちは。

今日は埼玉の拉致被害者を救う会の集会に行ってきました。

いやはや、会場は満杯で場外にスクリーンを張って立ち見まで・・・
なんか、春の日比谷公会堂での大集会よりも混んでました。

夫婦別姓→家族崩壊ですが、私が最初に夫婦別姓を聞いたとき、真っ先に
思い浮かんだのが、カンボジアのポルポト政権時代でした。
子供たちが完全にポルポトのロボットにされ、親たちを監視し、
大人が子供たちの厳しい「指導」にビクついてる社会。

民主党は、いくら旧社会党の極左が幅を効かせる党とはいえ、
半分は違うはずなのに、こんな極左政策にすら無知無策で、何も言えないのか？
保守派の集会でだけ！威勢のいい松原仁らは、党内では保身に必死で
ビクついてるのか？ と呆れ返るばかりです。

>いい年した大人が左翼思想にかぶれていると
日本では「進化的文化人」だと持て囃されてますよ・・・ハア・・・

昨日も不法滞在のインド人一家5人が、元赤軍派テロリストの法相により
最高裁での国外退去判決を無視して、滞在が許可されましたよ・・・ハア・・・



Commented by **花うさぎ** さん

To miestiqueさん こんにちは。

>いやはや、会場は満杯で場外にスクリーンを張って立ち見まで・・・

情報ありがとうございます。それは良かったですね。

>なんか、春の日比谷公会堂での大集会よりも混んでました。

>子供たちが完全にポルポトのロボットにされ、親たちを監視し、
>大人が子供たちの厳しい「指導」にビクついてる社会。

そうでしたね。まさに「暗黒」という表現がピッタリでした。

>保守派の集会でだけ！威勢のいい松原仁らは、党内では保身に必死で
>ビクついてるのか？ と呆れ返るばかりです。

そろそろ動いてくれないと怒りが爆発しそうです。

>昨日も不法滞在のインド人一家5人が、元赤軍派テロリストの法相により
>最高裁での国外退去判決を無視して、滞在が許可されましたよ・・・ハア・・・

またですか？。千葉は政治資金疑惑捜査で検察に圧力をかけていると噂されていますし、最悪の法相ですね。

2009/12/01 21:29

2009/12/02 02:53